

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンドの受益証券
	ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド	海外の債券
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、エマージング諸国の現地通貨建債券に分散投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②投資にあたっては、以下の点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>イ. J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケットズ ブロードの構成国を参考に投資対象通貨を選定します。</p> <p>ロ. 通貨の地域配分にあたっては、欧州・中東・アフリカ地域、アジア地域、中南米地域の3地域へ均等とすることをめざします。</p> <p>ハ. 各地域ごとに3通貨を選定して均等に配分することをめざします。通貨の選定にあたっては、各国の金利水準、経済ファンダメンタルズ、流動性等から判断し、年2回以上見直しを行ないます。なお流動性、市場状況等によっては通貨数が異なる場合があります。</p> <p>ニ. 投資する債券は、各国の政府、政府関係機関および国際機関等が発行するものとし、取得時においてB B格相当以上（ムーディーズでB a 3以上またはS & PでB B-以上）とします。</p> <p>ホ. ポートフォリオの修正デュレーションは1（年）程度から3（年）程度の範囲とします。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。1月と7月の計算期末については、上記継続分配相当額に付加して分配する場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ・エマージング 高金利債券ファンド (毎月分配型)

運用報告書(全体版)

第95期	(決算日)	2016年2月15日)
第96期	(決算日)	2016年3月15日)
第97期	(決算日)	2016年4月15日)
第98期	(決算日)	2016年5月16日)
第99期	(決算日)	2016年6月15日)
第100期	(決算日)	2016年7月15日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・エマージング高金利債券ファンド(毎月分配型)」は、このたび、第100期の決算を行ないました。

ここに、第95期～第100期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先(コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00～17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			J Pモルガン GB I - E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
71期末(2014年2月17日)	6,018	50	△ 3.5	13,597	△ 3.9	97.2	6,841
72期末(2014年3月17日)	5,983	50	0.2	13,655	0.4	95.1	6,758
73期末(2014年4月15日)	6,145	50	3.5	14,258	4.4	96.4	6,965
74期末(2014年5月15日)	6,223	50	2.1	14,573	2.2	96.5	7,015
75期末(2014年6月16日)	6,185	50	0.2	14,631	0.4	96.3	6,729
76期末(2014年7月15日)	6,177	50	0.7	14,744	0.8	96.9	6,645
77期末(2014年8月15日)	6,118	50	△ 0.1	14,712	△ 0.2	96.8	6,540
78期末(2014年9月16日)	6,193	50	2.0	14,957	1.7	94.7	6,536
79期末(2014年10月15日)	6,064	50	△ 1.3	14,843	△ 0.8	96.5	6,392
80期末(2014年11月17日)	6,451	50	7.2	15,798	6.4	97.4	6,709
81期末(2014年12月15日)	6,285	50	△ 1.8	15,307	△ 3.1	97.1	6,448
82期末(2015年1月15日)	6,230	50	△ 0.1	15,228	△ 0.5	96.2	6,326
83期末(2015年2月16日)	6,094	50	△ 1.4	15,183	△ 0.3	96.5	6,161
84期末(2015年3月16日)	5,773	50	△ 4.4	14,511	△ 4.4	95.8	5,755
85期末(2015年4月15日)	5,817	50	1.6	15,048	3.7	95.5	5,767
86期末(2015年5月15日)	5,872	50	1.8	15,214	1.1	95.6	5,796
87期末(2015年6月15日)	5,811	50	△ 0.2	15,076	△ 0.9	95.5	5,710
88期末(2015年7月15日)	5,746	50	△ 0.3	15,109	0.2	96.0	5,560
89期末(2015年8月17日)	5,429	50	△ 4.6	14,447	△ 4.4	94.4	5,223
90期末(2015年9月15日)	5,011	50	△ 6.8	13,309	△ 7.9	94.4	4,747
91期末(2015年10月15日)	5,071	50	2.2	13,717	3.1	94.7	4,770
92期末(2015年11月16日)	5,018	50	△ 0.1	13,757	0.3	95.3	4,683
93期末(2015年12月15日)	4,771	50	△ 3.9	13,074	△ 5.0	95.8	4,423
94期末(2016年1月15日)	4,563	50	△ 3.3	12,673	△ 3.1	96.0	4,188
95期末(2016年2月15日)	4,385	50	△ 2.8	12,515	△ 1.2	95.6	4,004
96期末(2016年3月15日)	4,576	50	5.5	13,310	6.4	96.1	4,169
97期末(2016年4月15日)	4,525	50	△ 0.0	13,435	0.9	97.2	4,115
98期末(2016年5月16日)	4,351	50	△ 2.7	13,075	△ 2.7	93.8	3,941
99期末(2016年6月15日)	4,176	50	△ 2.9	12,695	△ 2.9	96.3	3,766
100期末(2016年7月15日)	4,283	50	3.8	13,363	5.3	95.7	3,853

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) J Pモルガン GB I - E Mグローバル ダイバーシファイド (円換算) は、J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックスエマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックスエマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morganからの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

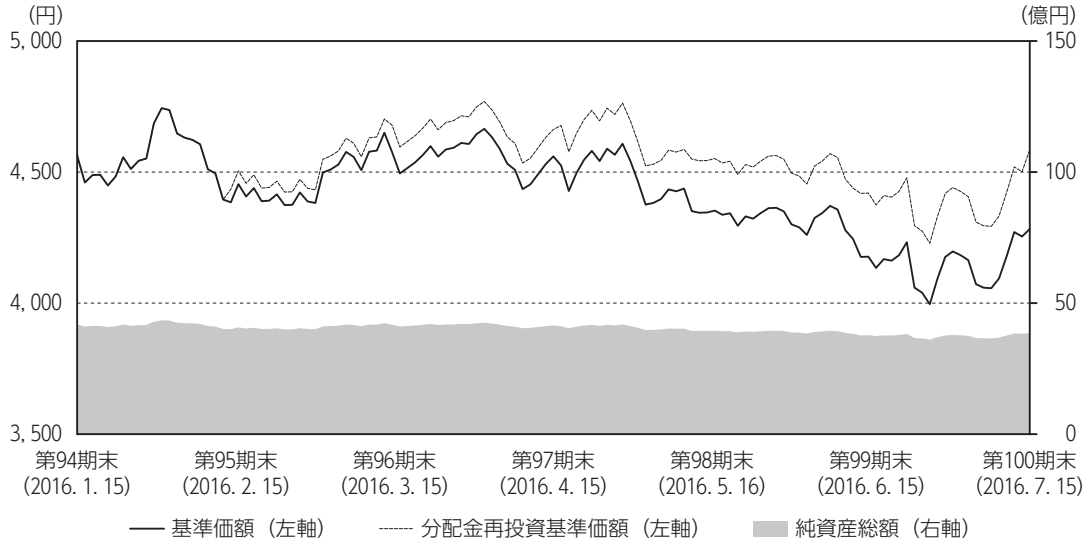
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第95期首：4,563円

第100期末：4,283円（既払分配金300円）

騰落率：0.5%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

主として「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を通じて、新興国の債券に投資した結果、各国の通貨が円に対して下落したことがマイナス要因となった一方、投資している債券の値上がりや債券の利息収入はプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・エマージング高金利債券ファンド（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		J P モ ル ガ ン G B I - E M グ ロー バ ル ダ イ バ ー シ フ ァ イ ド (円換算)		公 社 債 入 率 組 比
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
		円	%		%	%
第95期	(期首) 2016年 1月15日	4,563	—	12,673	—	96.0
	1月末	4,686	2.7	13,096	3.3	95.7
	(期末) 2016年 2月15日	4,435	△ 2.8	12,515	△ 1.2	95.6
第96期	(期首) 2016年 2月15日	4,385	—	12,515	—	95.6
	2月末	4,388	0.1	12,588	0.6	95.8
	(期末) 2016年 3月15日	4,626	5.5	13,310	6.4	96.1
第97期	(期首) 2016年 3月15日	4,576	—	13,310	—	96.1
	3月末	4,645	1.5	13,577	2.0	96.4
	(期末) 2016年 4月15日	4,575	△ 0.0	13,435	0.9	97.2
第98期	(期首) 2016年 4月15日	4,525	—	13,435	—	97.2
	4月末	4,543	0.4	13,435	0.0	95.8
	(期末) 2016年 5月16日	4,401	△ 2.7	13,075	△ 2.7	93.8
第99期	(期首) 2016年 5月16日	4,351	—	13,075	—	93.8
	5月末	4,364	0.3	13,051	△ 0.2	93.7
	(期末) 2016年 6月15日	4,226	△ 2.9	12,695	△ 2.9	96.3
第100期	(期首) 2016年 6月15日	4,176	—	12,695	—	96.3
	6月末	4,176	0.0	12,763	0.5	94.3
	(期末) 2016年 7月15日	4,333	3.8	13,363	5.3	95.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について**○新興国債券市況**

米国の利上げペースが緩やかなものになるとの見方に加え、中国経済に対する懸念の後退や商品価格の反発、世界的な株式市場の上昇からリスクセンチメントが改善する中で、多くの新興国債券が買われる展開となりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、市場心理の改善や中央銀行の新総裁人事が好感されたこと、周辺国との関係改善の動きを受けて金利は低下しました。南アフリカでは、大統領の弾劾投票や財務相逮捕のうわさなどによる政治不透明感が嫌気されたものの、市場心理の改善から金利は低下しました。ポーランドでは、財政支出拡大方針を受けて格付会社が見通しの引き下げを行なったことから金利は上昇しました。

・アジア地域

インドネシアでは、中央銀行の金融緩和を受けて金利は低下しました。マレーシアでは、政策金利は据え置かれたものの、今後の金融緩和を織り込む動きから金利低下となりました。インドでは、中央銀行の利下げや財政健全化期待を受けて金利は低下しました。

・中南米地域

ブラジルでは、テメル暫定政権の発足と財政改革期待を受けて金利低下となりました。メキシコでは、通貨防衛のために中央銀行が利上げを行なった一方で、新興国全体の市場心理の改善もあり、金利はほぼ横ばいでの推移となりました。コロンビアでは、C P I（消費者物価指数）の上昇を受けて政策金利の引き上げが行なわれたものの、原油市況の回復を受けて金利は低下しました。

○為替相場

米国の利上げ懸念や中国経済に対する懸念が後退する中で新興国通貨は買われる動きがあったものの、日銀の金融政策をめぐる思惑によって円高が進行したことから、対円ではおおむね横ばいから下落となりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リラは、大統領の権限強化に対する懸念や政策金利の引き下げを受けて対円で下落しました。南アフリカ・ランドは、政治に対する不透明感が懸念されたものの、商品価格の反発傾向を受けて対円で一進一退の推移となりました。ポーランド・ズロチは、格下げ懸念や英国のEU（欧州連合）離脱の国民投票の結果を受けて対円で下落しました。

・アジア地域

マレーシア・リンギットは、円高圧力の一方で商品価格上昇の影響もあったことから対円ではほ

ダイワ・エマージング高金利債券ファンド（毎月分配型）

ば横ばいとなりました。インドネシア・ルピアは、中央銀行の金融緩和姿勢から対円で下落しました。インド・ルピーは、利下げや金融政策の不透明感から対円で下落しました。

・中南米地域

ブラジル・レアルは、ルセフ大統領の弾劾手続きにおける職務停止が成立したことによる政治不透明感の後退から、対円で上昇しました。コロンビア・ペソは、原油価格の反発が買い材料となったものの、円高圧力もあって対円で一進一退となりました。メキシコ・ペソは、国営石油会社ペメックスの経営不振や米国の大統領選挙での共和党トランプ候補の対メキシコ強硬発言もあり対円で下落しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

金利リスクを表す修正デュレーションは約1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当作成期間を通じて「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

○ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域においては、トルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ポーランド・ズロチ、アジア地域ではインドネシア・ルピア、マレーシア・リングgit、インド・ルピー、中南米地

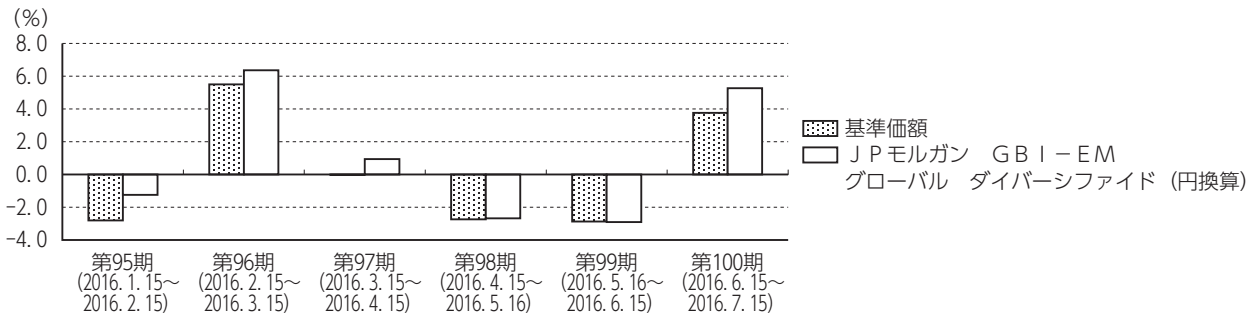
域ではブラジル・リアル、コロンビア・ペソ、メキシコ・ペソへ投資しました。

- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1（年）程度～3（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、現地通貨建国債と国際機関債からなるポートフォリオ構成としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第95期から第100期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ50円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
	2016年1月16日 ～2016年2月15日	2016年2月16日 ～2016年3月15日	2016年3月16日 ～2016年4月15日	2016年4月16日 ～2016年5月16日	2016年5月17日 ～2016年6月15日	2016年6月16日 ～2016年7月15日
当期分配金（税込み）（円）	50	50	50	50	50	50
対基準価額比率（%）	1.13	1.08	1.09	1.14	1.18	1.15
当期の収益（円）	23	26	24	21	21	24
当期の収益以外（円）	26	23	25	28	28	25
翌期繰越分配対象額（円）	310	287	261	233	204	179

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
(a) 経費控除後の配当等収益	23.91円	26.41円	24.19円	21.89円	21.02円	24.57円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	251.78	252.02	252.23	252.30	233.36	204.43
(d) 分配準備積立金	84.98	58.69	34.96	9.13	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	360.68	337.14	311.39	283.32	254.38	229.01
(f) 分配金	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	310.68	287.14	261.39	233.32	204.38	179.01

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

金利リスクを表す修正デュレーションは約1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第95期～第100期		項 目 の 概 要
	(2016. 1. 16～2016. 7. 15)		
	金 額	比 率	
信託報酬	32円	0.720%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は4,422円です。
（投信会社）	(14)	(0.323)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(17)	(0.376)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	4	0.087	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.065)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(1)	(0.019)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	36	0.807	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ・エマージング高金利債券ファンド（毎月分配型）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年1月16日から2016年7月15日まで)

決算期	第95期～第100期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド	19,453	22,826	349,289	413,725

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第95期～第100期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第100期末		
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド	3,534,482	3,204,646	3,835,320

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年2月15日)、(2016年3月15日)、(2016年4月15日)、(2016年5月16日)、(2016年6月15日)、(2016年7月15日) 現在

項目	第95期末	第96期末	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末
(A) 資産	4,056,073,432円	4,220,061,406円	4,168,159,451円	4,002,162,374円	3,817,350,244円	3,905,455,792円
コール・ローン等	9,716,571	44,836,548	13,471,090	23,738,232	68,281,707	66,688,342
ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド（評価額）	3,997,326,861	4,167,224,858	4,153,128,361	3,918,224,142	3,747,556,617	3,835,320,818
未収入金	49,030,000	8,000,000	1,560,000	60,200,000	1,511,920	3,446,632
(B) 負債	51,808,937	50,302,022	52,249,700	60,857,312	51,110,242	52,071,186
未払収益分配金	45,656,498	45,563,636	45,475,588	45,297,125	45,094,093	44,982,841
未払解約金	1,011,466	—	1,584,385	10,435,444	1,225,492	2,489,136
未払信託報酬	5,112,369	4,683,585	5,106,360	5,013,279	4,653,218	4,436,947
その他未払費用	28,604	54,801	83,367	111,464	137,439	162,262
(C) 純資産総額 (A - B)	4,004,264,495	4,169,759,384	4,115,909,751	3,941,305,062	3,766,240,002	3,853,384,606
元本	9,131,299,665	9,112,727,261	9,095,117,651	9,059,425,171	9,018,818,640	8,996,568,302
次期繰越損益金	△ 5,127,035,170	△ 4,942,967,877	△ 4,979,207,900	△ 5,118,120,109	△ 5,252,578,638	△ 5,143,183,696
(D) 受益権総口数	9,131,299,665口	9,112,727,261口	9,095,117,651口	9,059,425,171口	9,018,818,640口	8,996,568,302口
1万口当り基準価額 (C/D)	4,385円	4,576円	4,525円	4,351円	4,176円	4,283円

* 第94期末における元本額は9,180,599,780円、当作成期間（第95期～第100期）中における追加設定元本額は182,000,511円、同解約元本額は366,031,989円です。

* 第100期末の計算口数当りの純資産額は4,283円です。

* 第100期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は5,143,183,696円です。

■投資信託財産の構成

2016年7月15日現在

項目	第100期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド	3,835,320	98.2
コール・ローン等、その他	70,134	1.8
投資信託財産総額	3,905,455	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=105.64円、1トルコ・リラ=36.63円、1メキシコ・ペソ=5.75円、100コンゴビア・ペソ=3.62円、1インド・ルピー=1.59円、100インドネシア・ルピア=0.81円、1ブラジル・レアル=32.45円、1マレーシア・リンギット=26.77円、1南アフリカ・ランド=7.41円、1ポーランド・ズロチ=26.63円です。

(注3) ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンドにおいて、第100期末における外貨建純資産（42,981,781千円）の投資信託財産総額（44,169,482千円）に対する比率は、97.3%です。

■損益の状況

第95期 自 2016年 1月16日 至 2016年 2月15日 第97期 自 2016年 3月16日 至 2016年 4月15日 第99期 自 2016年 5月17日 至 2016年 6月15日
 第96期 自 2016年 2月16日 至 2016年 3月15日 第98期 自 2016年 4月16日 至 2016年 5月16日 第100期 自 2016年 6月16日 至 2016年 7月15日

項 目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
(A) 配当等収益	737円	26円	—円	1,009円	996円	1,042円
受取利息	737	26	—	2	—	2
支払利息	—	—	—	1,011	996	1,044
(B) 有価証券売買損益	△ 111,347,660	223,876,032	4,754,515	△ 108,103,723	△ 107,613,597	145,890,996
売買益	550,395	224,458,441	4,933,157	341,291	222,453	146,235,046
売買損	△ 111,898,055	△ 582,409	△ 178,642	△ 108,445,014	△ 107,836,050	△ 344,050
(C) 信託報酬等	△ 5,140,973	△ 4,709,782	△ 5,134,926	△ 5,041,376	△ 4,679,246	△ 4,461,770
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 116,487,896	219,166,276	△ 380,411	△ 113,146,108	△ 112,293,839	141,428,184
(E) 前期繰越損益金	△ 1,925,093,966	△ 2,075,816,231	△ 1,890,643,552	△ 1,923,276,041	△ 2,048,671,299	△ 2,167,122,122
(F) 追加信託差損益金	△ 3,039,796,810	△ 3,040,754,286	△ 3,042,708,349	△ 3,036,400,835	△ 3,046,519,407	△ 3,072,506,917
(配当等相当額)	(229,910,179)	(229,667,482)	(229,414,274)	(228,569,515)	(210,468,115)	(183,918,603)
(売買損益相当額)	(△ 3,269,706,989)	(△ 3,270,421,768)	(△ 3,272,122,623)	(△ 3,264,970,350)	(△ 3,256,987,522)	(△ 3,256,425,520)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 5,081,378,672	△ 4,897,404,241	△ 4,933,732,312	△ 5,072,822,984	△ 5,207,484,545	△ 5,098,200,855
(H) 収益分配金	△ 45,656,498	△ 45,563,636	△ 45,475,588	△ 45,297,125	△ 45,094,093	△ 44,982,841
次期繰越損益金 (G + H)	△ 5,127,035,170	△ 4,942,967,877	△ 4,979,207,900	△ 5,118,120,109	△ 5,252,578,638	△ 5,143,183,696
追加信託差損益金	△ 3,039,796,810	△ 3,040,754,286	△ 3,042,708,349	△ 3,053,592,724	△ 3,072,653,400	△ 3,095,377,332
(配当等相当額)	(229,910,179)	(229,667,482)	(229,414,274)	(211,377,626)	(184,334,122)	(161,048,188)
(売買損益相当額)	(△ 3,269,706,989)	(△ 3,270,421,768)	(△ 3,272,122,623)	(△ 3,264,970,350)	(△ 3,256,987,522)	(△ 3,256,425,520)
分配準備積立金	53,781,711	31,996,941	8,330,175	—	—	—
繰越損益金	△ 2,141,020,071	△ 1,934,210,532	△ 1,944,829,726	△ 2,064,527,385	△ 2,179,925,238	△ 2,047,806,364

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
(a) 経費控除後の配当等収益	21,838,302円	24,073,180円	22,003,441円	19,831,942円	18,960,100円	22,112,426円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	229,910,179	229,667,482	229,414,274	228,569,515	210,468,115	183,918,603
(d) 分配準備積立金	77,599,907	53,487,397	31,802,322	8,273,294	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	329,348,388	307,228,059	283,220,037	256,674,751	229,428,215	206,031,029
(f) 分配金	45,656,498	45,563,636	45,475,588	45,297,125	45,094,093	44,982,841
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	283,691,890	261,664,423	237,744,449	211,377,626	184,334,122	161,048,188
(h) 受益権総口数	9,131,299,665□	9,112,727,261□	9,095,117,651□	9,059,425,171□	9,018,818,640□	8,996,568,302□

ダイワ・エマージング高金利債券ファンド（毎月分配型）

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
	50円	50円	50円	50円	50円	50円
(単 価)	(4, 385円)	(4, 576円)	(4, 525円)	(4, 351円)	(4, 176円)	(4, 283円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

運用報告書 第17期 (決算日 2016年7月15日)

(計算期間 2016年1月16日～2016年7月15日)

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンドの第17期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の債券
運用方法	<p>①主として、エマージング諸国の現地通貨建債券に分散投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②投資にあたっては、以下の点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>イ. J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケットズ ブロードの構成国を参考に投資対象通貨を選定します。</p> <p>ロ. 通貨の地域配分にあたっては、欧州・中東・アフリカ地域、アジア地域、中南米地域の3地域へ均等とすることをめざします。</p> <p>ハ. 各地域ごとに3通貨を選定して均等に配分することをめざします。通貨の選定にあたっては、各国の金利水準、経済ファンダメンタルズ、流動性等から判断し、年2回以上見直しを行ないます。なお流動性、市場状況等によっては通貨数が異なる場合があります。</p> <p>ニ. 投資する債券は、各国の政府、政府関係機関および国際機関等が発行するものとし、取得時においてBB格相当以上（ムーディーズでBa3以上またはS & PでBB-以上）とします。</p> <p>ホ. ポートフォリオの修正デュレーションは1（年）程度から3（年）程度の範囲とします。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

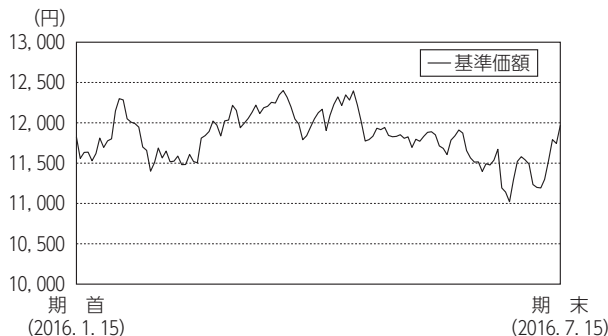
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準 価 額		J Pモルガン GBI-E M グロ-バル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	(参 考 指 数)	騰 落 率		
	円	%		%	%
(期首) 2016年 1月15日	11,823	—	12,673	—	96.2
1月末	12,149	2.8	13,096	3.3	95.8
2月末	11,520	△ 2.6	12,588	△ 0.7	96.1
3月末	12,347	4.4	13,577	7.1	96.7
4月末	12,223	3.4	13,435	6.0	96.3
5月末	11,889	0.6	13,051	3.0	94.2
6月末	11,521	△ 2.6	12,763	0.7	94.7
(期末) 2016年 7月15日	11,968	1.2	13,363	5.5	96.1

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) J Pモルガン GBI-E Mグローバル ダイバーシファイド (円換算) は、J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,823円 期末：11,968円 騰落率：1.2%

【基準価額の主な変動要因】

新興国の債券に投資した結果、各国の通貨が円に対して下落したことがマイナス要因となった一方、投資している債券の値上がりや債券の利息収入はプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○新興国債券市況

米国の利上げペースが緩やかなものになるとの見方に加え、中国経済に対する懸念の後退や商品価格の反発、世界的な株式市場の上昇からリスクセンチメントが改善する中で、多くの新興国債券が買われる展開となりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、市場心理の改善や中央銀行の新総裁人事が好感されたこと、周辺国との関係改善の動きを受けて金利は低下しました。南アフリカでは、大統領の弾劾投票や財務相逮捕のうわさなどによる政治不透明感が嫌気されたものの、市場心理の改善から金利は低下しました。ポーランドでは、財政支出の拡大方針を受けて格付会社が見通しの引き下げを行なったことから金利は上昇しました。

・アジア地域

インドネシアでは、中央銀行の金融緩和を受けて金利は低下しました。マレーシアでは、政策金利は据え置かれたものの、今後の金融緩和を織り込む動きから金利低下となりました。インドでは、中央銀行の利下げや財政健全化期待を受けて金利は低下しました。

・中南米地域

ブラジルでは、テメル暫定政権の発足と財政改革期待を受けて金利低下となりました。メキシコでは、通貨防衛のために中央銀行が利上げを行なった一方で、新興国全体の市場心理の改善もあり、金利はほぼ横ばいでの推移となりました。コロンビアでは、CPI (消費者物価指数) の上昇を受けて政策金利の引き上げが行なわれたものの、原油市況の回復を受けて金利は低下しました。

○為替相場

米国の利上げ懸念や中国経済に対する懸念が後退する中で新興国通貨は買われる動きがあったものの、日銀の金融政策をめぐる思惑によって円高が進行したことから、対円ではおおむね横ばいから下落となりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リライは、大統領の権限強化に対する懸念や政策金利の引き下げを受けて対円で下落しました。南アフリカ・ランドは、政治に対する不透明感が懸念されたものの、商品価格の反発傾向を受けて対円で一進一退の推移となりました。ポーランド・ズロチは、格下げ懸念や英国のEU (欧州連合) 離脱の国民投票の結果を受けて対円で下落しました。

・アジア地域

マレーシア・リングgitは、円高圧力の一方で商品価格上昇の影響もあったことから対円ではほぼ横ばいとなりました。インドネシア・ルピアは、中央銀行の金融緩和姿勢から対円で下落しました。インド・ルピーは、利下げや金融政策の不透明感から対円で下落しました。

・中南米地域

ブラジル・レアルは、ルセフ大統領の弾劾手続きにおける職務

停止が成立したことによる、政治不透明感の後退から、対円で上昇しました。コロンビア・ペソは、原油価格の反発が買い材料となったものの、円高圧力もあって対円で一進一退となりました。メキシコ・ペソは、国営石油会社ペメックスの経営不振や米国の大統領選挙で共和党トランプ候補の対メキシコ強硬発言もあり対円で下落しました。

◆前期における「今後の運用方針」

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
金利リスクを表す修正デュレーションは約1(年)程度～3(年)程度でコントロールします。

◆ポートフォリオについて

- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域においては、トルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ポーランド・ズロチ、アジア地域ではインドネシア・ルピア、マレーシア・リンギット、インド・ルピー、中南米地域ではブラジル・レアル、コロンビア・ペソ、メキシコ・ペソへ投資しました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1(年)程度～3(年)程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、現地通貨建国債と国際機関債からなるポートフォリオ構成としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

金利リスクを表す修正デュレーションは約1(年)程度～3(年)程度でコントロールします。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	10
(保管費用)	(8)
(その他)	(2)
合 計	10

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出方法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2016年1月16日から2016年7月15日まで)

		買付額	売付額
外	トルコ	千トルコ・リラ 国債証券 37,376	千トルコ・リラ (24,873 18,000)
		—	3,088 (—)
外	メキシコ	千メキシコ・ペソ 国債証券 59,595	千メキシコ・ペソ (268,316 —)
		203,243	— (—)
外	コロンビア	千コロンビア・ペソ 国債証券 86,227,540	千コロンビア・ペソ (92,165,690 15,000,000)
		—	— (—)
外	インド	千インド・ルピー 国債証券 425,680	千インド・ルピー (779,776 —)
		—	— (—)
外	インドネシア	千インドネシア・ルピア 国債証券 54,725,000	千インドネシア・ルピア (68,089,000 —)
		54,286,939	90,911,292 (59,000,000)
国	ブラジル	千ブラジル・レアル 国債証券 44,705	千ブラジル・レアル (100,883 —)
		—	— (—)
国	マレーシア	千マレーシア・リンギット 国債証券 70,164	千マレーシア・リンギット (95,679 —)
		—	— (—)
国	南アフリカ	千南アフリカ・ランド 国債証券 292,814	千南アフリカ・ランド (503,943 —)
		174,195	— (—)
国	ポーランド	千ポーランド・ズロチ 国債証券 69,618	千ポーランド・ズロチ (81,300 —)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年1月16日から2016年7月15日まで)

当 期		期	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
Colombian TES (コロンビア) 11.25% 2018/10/24	2,638,001	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 13.5% 2016/9/15	2,837,099
MALAYSIAN GOVERNMENT (マレーシア) 3.26% 2018/3/1	1,931,446	Colombian TES (コロンビア) 7.25% 2016/6/15	2,778,318
Turkey Government Bond (トルコ) 8.2% 2016/11/16	1,422,172	Poland Government Bond (ポーランド) 5.25% 2017/10/25	2,284,678
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル) 10% 2021/1/1	1,390,347	MALAYSIAN GOVERNMENT (マレーシア) 4.262% 2016/9/15	1,761,265
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8% 2018/12/21	1,359,740	India Government Bond (インド) 7.28% 2019/6/3	1,269,366
Poland Government Bond (ポーランド) 5.5% 2019/10/25	1,275,476	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2017/1/1	1,052,527
Petroleos Mexicanos (メキシコ) 7.65% 2021/11/24	1,179,242	Mexican Bonos (メキシコ) 7.25% 2016/12/15	920,599
India Government Bond (インド) 8.83% 2023/11/25	706,628	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2016/7/1	874,552
Poland Government Bond (ポーランド) 1.5% 2020/4/25	691,435	MALAYSIAN GOVERNMENT (マレーシア) 3.172% 2016/7/15	872,878
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 6.625% 2017/12/5	546,357	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8% 2018/12/21	728,796

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国(外貨建) 公社債(通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期		組入比率	うちBB格 以下組入 比	残存期間別組入比率		
		評 価 額				5年以上	2年以上	2年未満
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額					
トルコ	千トルコ・リラ 127,000	千トルコ・リラ 131,287	千円 4,809,053	% 11.0	% —	% 1.7	% 3.4	% 5.9
メキシコ	千メキシコ・ペソ 770,900	千メキシコ・ペソ 775,524	4,459,266	10.2	—	3.4	—	6.8
コロンビア	千コロンビア・ペソ 121,000,000	千コロンビア・ペソ 128,023,440	4,634,448	10.6	—	1.0	9.6	—
インド	千インド・ルピー 2,820,000	千インド・ルピー 2,873,978	4,569,625	10.5	—	1.6	8.9	—
インドネシア	千インドネシア・ルピア 561,800,000	千インドネシア・ルピア 571,136,536	4,626,205	10.6	—	1.9	3.2	5.5
ブラジル	千ブラジル・レアル 167,000	千ブラジル・レアル 151,190	4,906,143	11.3	11.3	—	5.2	6.0
マレーシア	千マレーシア・リンギット 177,000	千マレーシア・リンギット 179,046	4,793,063	11.0	—	—	0.6	10.4
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 618,000	千南アフリカ・ランド 627,474	4,649,588	10.7	—	1.3	3.1	6.3
ポーランド	千ポーランド・ズロチ 158,000	千ポーランド・ズロチ 166,885	4,444,170	10.2	—	—	4.8	5.4
合計	—	—	41,891,565	96.1	11.3	11.0	38.8	46.3

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額		
					千円	千円	
トルコ	Turkey Government Bond	国債証券	9.0000	千トルコ・リラ 10,000	千トルコ・リラ 10,073	368,973	2017/03/08
	Turkey Government Bond	国債証券	10.4000	39,000	40,813	1,494,998	2019/03/27
	Turkey Government Bond	国債証券	10.4000	19,000	20,676	757,389	2024/03/20
	Turkey Government Bond	国債証券	8.2000	45,000	45,182	1,655,025	2016/11/16
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	13.6250	14,000	14,541	532,666	2017/05/09
通貨小計	銘柄数 金 額	5銘柄		127,000	131,287	4,809,053	
メキシコ	Mexican Bonos	国債証券	7.2500	千メキシコ・ペソ 508,900	千メキシコ・ペソ 514,594	2,958,918	2016/12/15
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	52,000	59,485	342,041	2031/05/29
	Petroleos Mexicanos	特殊債券	7.6500	210,000	201,444	1,158,306	2021/11/24
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄		770,900	775,524	4,459,266	
コロンビア	Colombia Government International Bond	国債証券	9.8500	千コロンビア・ペソ 10,000,000	千コロンビア・ペソ 12,035,000	435,667	2027/06/28
	Colombian TES	国債証券	5.0000	43,000,000	41,534,560	1,503,551	2018/11/21
	Colombian TES	国債証券	11.2500	68,000,000	74,453,880	2,695,230	2018/10/24
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄		121,000,000	128,023,440	4,634,448	
インド	India Government Bond	国債証券	7.2800	千インド・ルピー 2,420,000	千インド・ルピー 2,441,538	3,882,045	2019/06/03
	India Government Bond	国債証券	8.8300	400,000	432,440	687,579	2023/11/25
通貨小計	銘柄数 金 額	2銘柄		2,820,000	2,873,978	4,569,625	
インドネシア	Indonesia Treasury Bond	国債証券	8.3750	千インドネシア・ルピア 50,000,000	千インドネシア・ルピア 54,457,500	441,105	2026/09/15
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	6.7500	50,000,000	49,379,500	399,973	2017/12/04
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	5.2000	55,000,000	49,721,100	402,740	2022/03/01
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	7.2500	48,000,000	48,213,600	390,530	2017/08/22
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	10.0000	160,000,000	169,696,000	1,374,537	2018/11/16
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	8.3500	5,800,000	5,838,686	47,293	2017/06/01
	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	7.2500	93,000,000	93,720,750	759,138	2017/07/17
	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	7.2000	70,000,000	70,045,500	567,368	2018/01/22
	AFRICAN DEVELOPMENT BK.	特殊債券	7.0000	30,000,000	30,063,900	243,517	2017/03/06
	通貨小計	銘柄数 金 額	9銘柄		561,800,000	571,136,536	4,626,205
ブラジル	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国債証券	10.0000	千ブラジル・レアル 49,000	千ブラジル・レアル 46,018	1,493,311	2021/01/01
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国債証券	6.0000	5,000	14,491	470,262	2016/08/15
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	10,000	9,416	305,549	2017/01/01
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	6,000	5,331	172,998	2017/07/01
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	65,000	51,776	1,680,144	2018/07/01
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	32,000	24,156	783,877	2019/01/01
通貨小計	銘柄数 金 額	6銘柄		167,000	151,190	4,906,143	

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	当 期		未		償 還 年 月 日
				額 面 金 額	評 価 額	評 価 額		
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
マレーシア	MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	4.2620	千マレーシア・リンギット 54,000	千マレーシア・リンギット 54,165	千円 1,450,003	2016/09/15	
	MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	4.2400	20,000	20,551	550,166	2018/02/07	
	MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	3.5800	9,000	9,227	247,008	2018/09/28	
	MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	3.2600	70,000	70,937	1,898,991	2018/03/01	
	MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	3.3940	24,000	24,164	646,893	2017/03/15	
通貨小計	銘柄数 金 額	5銘柄		177,000	179,046	4,793,063		
南アフリカ	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.2500	千南アフリカ・ランド 146,000	千南アフリカ・ランド 146,911	1,088,610	2017/09/15	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.0000	75,000	75,146	556,833	2018/12/21	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	7.2500	30,000	29,274	216,920	2020/01/15	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	10.5000	70,000	78,794	583,864	2026/12/21	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	13.5000	122,000	123,129	912,391	2016/09/15	
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	5.5200	25,000	24,420	180,957	2017/06/28	
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	6.6250	75,000	73,391	543,829	2017/12/05	
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	9.0000	75,000	76,407	566,181	2018/12/21	
通貨小計	銘柄数 金 額	8銘柄		618,000	627,474	4,649,588		
ポーランド	Poland Government Bond	国債証券	5.2500	千ポーランド・ズロチ 85,000	千ポーランド・ズロチ 88,863	2,366,428	2017/10/25	
	Poland Government Bond	国債証券	5.5000	48,000	53,457	1,423,575	2019/10/25	
	Poland Government Bond	国債証券	1.5000	25,000	24,565	654,165	2020/04/25	
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄		158,000	166,885	4,444,170		
合 計	銘柄数 金 額	44銘柄				41,891,565		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年7月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 41,891,565	% 94.8
コール・ローン等、その他	2,277,916	5.2
投資信託財産総額	44,169,482	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=105.64円、1トルコ・リラ=36.63円、1メキシコ・ペソ=5.75円、100コロンビア・ペソ=3.62円、1インド・ルピー=1.59円、100インドネシア・ルピア=0.81円、1ブラジル・レアル=32.45円、1マレーシア・リンギット=26.77円、1南アフリカ・ランド=7.41円、1ポーランド・ズロチ=26.63円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(42,981,781千円)の投資信託財産総額(44,169,482千円)に対する比率は、97.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年7月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	44,657,596,266円
コール・ローン等	458,475,907
公社債（評価額）	41,891,565,822
未収入金	1,298,899,580
未収利息	739,405,469
前払費用	269,249,488
(B) 負債	1,079,413,965
未払金	1,034,739,325
未払解約金	44,663,776
その他未払費用	10,864
(C) 純資産総額（A－B）	43,578,182,301
元本	36,412,853,392
次期繰越損益金	7,165,328,909
(D) 受益権総口数	36,412,853,392口
1万口当り基準価額（C／D）	11,968円

*期首における元本額は42,423,559,969円、当期中における追加設定元本額は64,754,919円、同解約元本額は6,075,461,496円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ成長国セレクト債券ファンド（毎月決算型）32,864,480,653円、ダイワ成長国セレクト債券ファンド（年1回決算型）335,433,085円、ダイワ・エマージング高金利債券ファンド（毎月分配型）3,204,646,406円、ダイワ・エマージング高金利債券ファンド（年1回決算型）8,293,248円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は11,968円です。

■損益の状況

当期 自2016年1月16日 至2016年7月15日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,733,092,245円
受取利息	1,733,143,846
支払利息	△ 51,601
(B) 有価証券売買損益	△ 1,164,434,301
売買益	1,783,916,312
売買損	△ 2,948,350,613
(C) その他費用	△ 38,990,319
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	529,667,625
(E) 前期繰越損益金	7,732,151,894
(F) 解約差損益金	△ 1,108,200,898
(G) 追加信託差損益金	11,710,288
(H) 合計（D＋E＋F＋G）	7,165,328,909
次期繰越損益金（H）	7,165,328,909

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。